



1. 船着場に接近中の水中翼船。

2. アムール河岸の露頭と紅葉。

アムール川 船の旅

シホテアリン北端のムノゴベルシンノエ金鉱山を訪ねるため、アムール川の河口に近いニコラエフスクとハバロフスクとの間を水中翼船で往復した。晩秋（10月初旬）の風景を紹介する。

（詳しくは本文37-44頁参照）

<地質調査所 鉱物資源部 佐藤興平>



3. アムール河岸の白亜系の連続露頭、コムソモルスクの南約80km。

4. みぞれの降りしきるムノゴベルシンノエ鉱山町の一角、シホテアリン最大の金鉱床ムノゴベルシンノエは、後期白亜紀もしくは古第三紀の熱水性鉱脈群からなり、総埋蔵金量は200トン余りと言われる。

